

新古賀病院

古賀病院 21

新古賀クリニック



診療所との地域医療連携システム導入	P 1
市民がんセミナー200人受講	P 2
新古賀病院が「頼れる民間病院ランキング14位」	P 5
「発熱外来」など改装・拡充オープン	P 6
男女別フロアで健康管理センター受診者倍増	P 7～8
トモセラピーのがん治療に注目	P 9
二之宮副院長に聴く「古賀病院21の整形外科」	P 10
田中久重の「甲冑弓射り人形」初公開	P 11
県内初の創傷治療センター	P 12
天神会の外来診察予定表	P 13～14

全国初の心臓融合画像診断1000件突破

P3～4

VOL. 4

2009年12月

2009年12月発行
 医療法人「天神会」広報誌第4号
 発行／医療法人「天神会」
 編集・製作／医療法人「天神会」広報部
 印刷・製本／株式会社四ヶ所

● ● ● 理 念 ● ● ●
 人々の豊かな生涯を支援する医療

行動規範

1. **病める人中心の医療** 病める人の権利を尊重し、プライバシーを遵守して、思いやりのある医療の実践に努めます。
2. **安全で高度な医療の提供** 病める人の安全を確保し、いつでも受療できる体制を整え、心のこもった質の高い専門的医療の提供に努めます。
3. **医療機関との連携** 地域医療機関との連携を緊密にし、生涯にわたる一貫性のある医療の提供に努めます。
4. **医療人としての研鑽** 私たちは医療人として、医療技術の向上に日々努め、節度ある態度をもって病める人に対処できるように自己研鑽に努めます。

医療法人 天神会

KOGA

URL <http://www.tenjinkai.or.jp>

E-mail info@tenjinkai.or.jp

新古賀病院

〒830-8577 久留米市天神町120
TEL: 0942-38-2222 (代) FAX: 0942-38-2255

古賀病院21

〒839-0801 久留米市宮の陣3-3-8
TEL: 0942-38-3333 (代) FAX: 0942-38-3324

新古賀クリニック

〒830-8522 久留米市天神町106-1
TEL: 0942-35-2485 (代) FAX: 0942-37-3793

天神会 地域医療連携システム導入

27診療所と連携

インターネットで情報共有

医療法人「天神会」の新古賀病院、古賀病院21、新古賀クリニックでは2009年3月から、インターネット回線を利用して近隣の診療所の先生方と患者さんの診療情報を共有する「地域医療連携システム」を導入しました。

患者さんにとっても病診連携の一貫した医療が効率よくスムーズに受けられるシステムです。09年11月末現在、ご登録をいただいた久留米市をはじめ、小郡市や鳥栖市、筑後市、八女郡広川町など27診療所の先生方との間で運用しています。

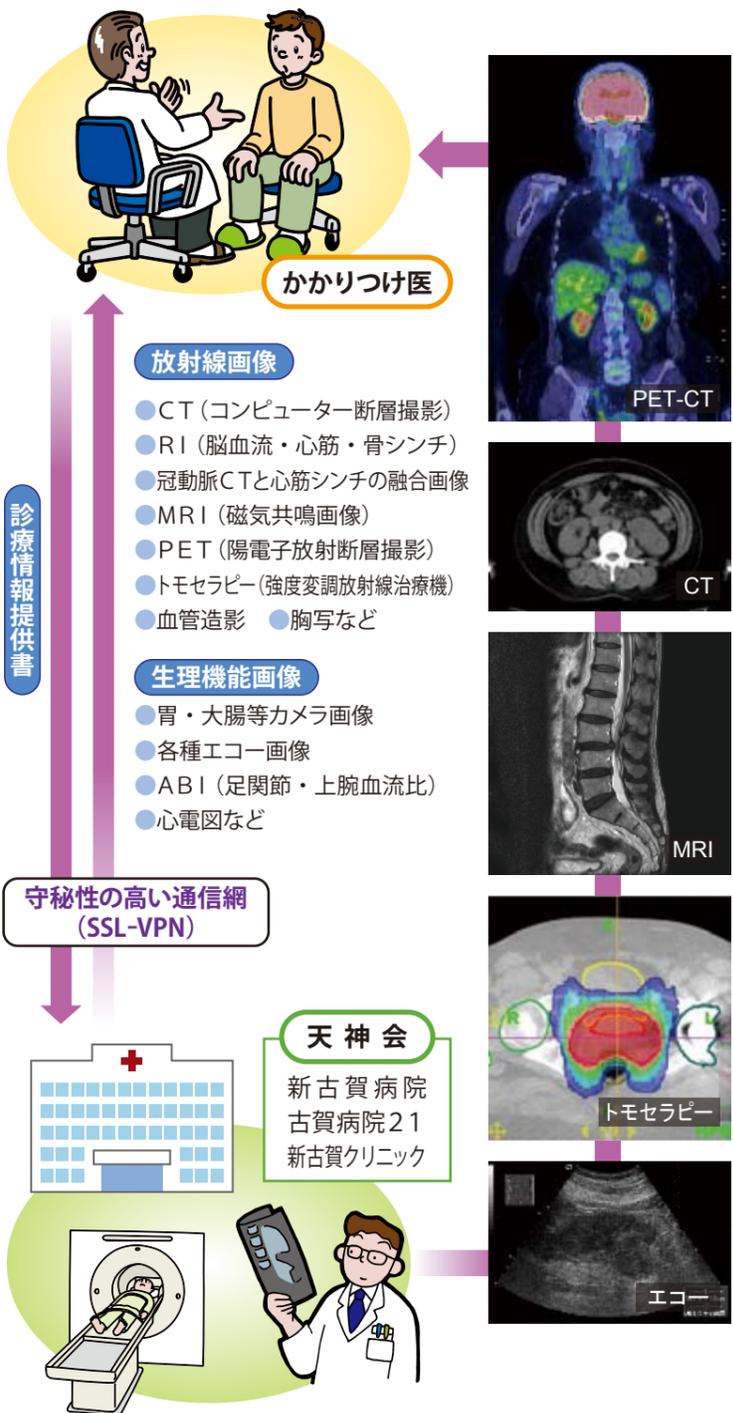
この地域医療連携システムは、情報漏洩しないために、天神会内で運用しているコンピューターとは切り離した、極めて守秘性の高い通信網（SSL-VPN）を導入することによって実現しました。

ご登録をいただいた診療所の先生方は2段階のID、パスワードを使うことによって初めて通信可能となり、かかりつけの患者さんの検査や入院を依頼したい場合、「診療情報提供書」を検索して、紹介元、紹介先、

患者名、傷病名、依頼目的などを書式に従って入力し送信すれば、予約

日時が返信されます。これまでの検査や診療内容を添付して送ることや紹介先の天神会の不在医師情報、天神会からのお知らせなどの検索もできます。

インターネット回線を利用した診療情報の共有によって、患者さんにとっては検査の重複を避けた効率的な医療が受けられるだけでなく、画像ファイルを使わなかったためフィルム料金の負担が軽減されます。また、紹介検査の場合、結果はただちに紹介元の診療所の担当医師に届くため、患者さんは検査後、画像フィルム作成に必要な約20～30分間を待つことなく、会計を済ませて、すぐに帰宅できます。



全人的医療を目指して

西洋医学によって、20世紀には内科治療や外科手術、感染症対策、救急医療、画像診断、人工臓器、臓器移植など、臓器や身体を主とする医療分野が画期的な進歩を遂げ、医療者はもちろん、一般の人々も医学とは西洋医学のことであり、そのみが科学的で信頼できるただ一つの医療であるという思い込みを強くしました。

ところが、21



理事長 古賀伸彦

世紀を迎え、わが国は世界に類のない高齢化社会に突入しました。高齢化社会に多い病気としては、がんや脳梗塞、心筋梗塞などの血管病、その素地となる高血圧や糖尿病、メタボリックシンドローム、認知症、骨・関節疾患などがあります。これらの病気の特徴は健康と病気の境目が不明瞭なことです。何十年も通院された患者さんが入院を契機に認知症が顕在化したりすることはまれではありません。西洋医学は確かに、身体や臓器を治療す

る立場からは素晴らしい発展を遂げましたが、認知症を例にとっても、患者さんを身体面からだけでなく、心理面を含めて、全人的に診療していくことがこれからの時代、ますます重要になるものと思われま

す。最近統合医療という概念が注目されています。西洋医学だけでなく、代替医療・伝統医療なども効果があれば取り入れようとする

立場です。患者さん中心の全人的医療で、生まれてから亡くなるまでの包括的医療でもありません。まさに、私たちの天神会の理念「人々の豊かな生涯を支援する医療」に合致した医療と考えています。天神会では、患者さんの心を癒し、自然治癒力を高め、病気にならぬ生活習慣を身につけていただくための医療を目指して、施設のアメニティー向上はもちろん、メディカルアラロマテラピーやヨガなどにも取り組んでいます。

市民がんセミナー200人受講



写真提供：西日本新聞社

医療法人「天神会」では、一般市民を対象にした医療セミナーを毎年開催していくことを決め、2009年10月10日に新古賀病院5階の記念講堂で開いた第1回目の「市民がんセミナー」には、約200人の市民の皆様に参加していただきました。

このセミナーは、天神会の「人々の豊かな生涯を支援する医療」という理念に基づき、よ

り多くの市民の皆様が天神会の医療機関が取り組んでいる先端医療などを知っていただくとともに、フリートークなどを通じて担当医師らとの交流も深めていただくのが目的です。

「市民がんセミナー」では、古賀病院21の吉田毅・PET画像診断センター長が「がんを早期発見するため」に、40列PET-CTを含む総合健診」のテーマで講演し、そのPET健

診によって2年連続で二つの早期がんが見つかった古賀市の村上初美さんが、体験談を交え、「定期的な健診によって自分の命は自分で守ることが大切」と呼び掛けられました。さらに、大曲淳一・放射線治療センター長が「機能・形態を温存し切らずに『がん』を治療する最新の放射線治療」をテーマに、同センターが導入した最先端の放射線治療機「トモセラピー」の治療実績などについて講演し、治療を受けた久留米市の小林一成さんからは「トモセラピーとの出会いによって前立腺がんを乗り越えることができました」という喜びの体験談を披露していただきました。このあと、会場の参加者と医師や体験発表者とのフリートークでは、がんの早期発見や治療についての活発な質疑応答が行なわれました。

心臓CT検査も1万件超える

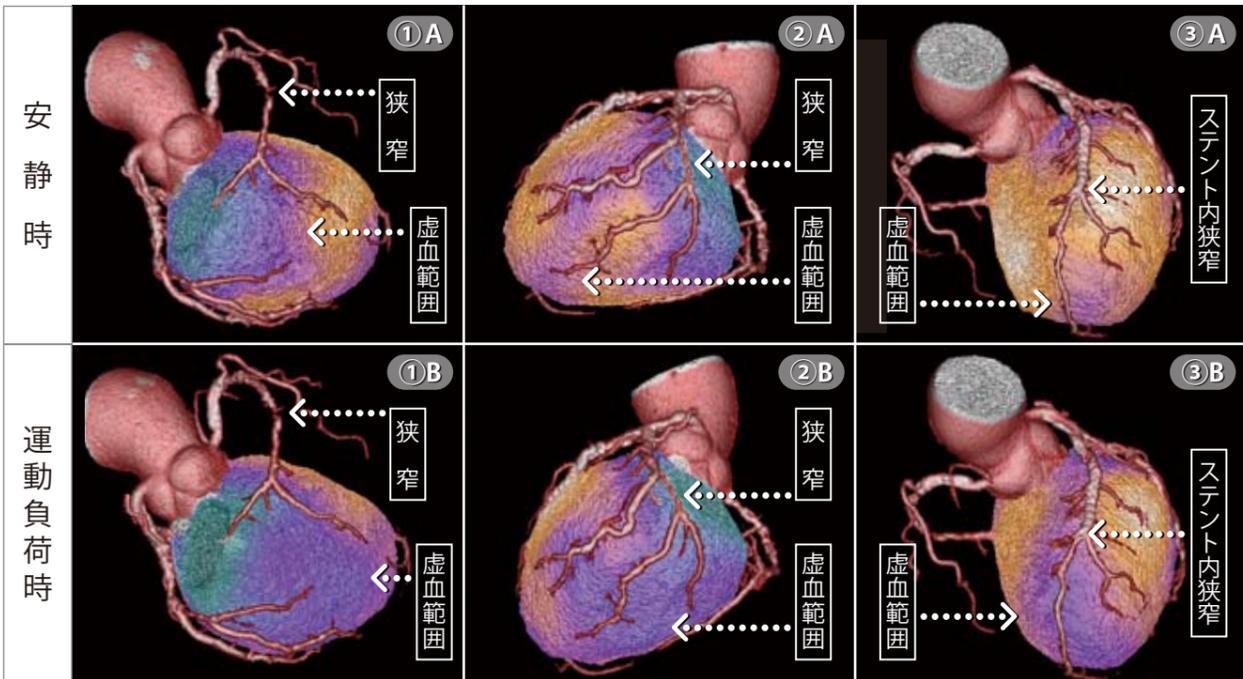
狭心症や心筋梗塞は、心臓に酸素や栄養を送る冠動脈などの血管が詰まり、心臓を動かす筋肉が機能しなくなることで起こる虚血性心疾患です。原因となる冠動脈の狭窄などは64列CT（コンピュータ断層撮影）、その狭窄などによって起きる筋肉の虚血状態は心筋血流SPECTによって別々に診ることしか出来ませんでした。新古賀病院では2007年6月に全国で初めて、この64列CTと心筋血流SPECTの画像データが融合できる立体融合画像診断装置を導入し、新装置を使った臨床診断件数が2009年10月15日に1000件を突破しました。また、64列CTとその前身の16列CT（2003年11月導入）を使った心臓CT検査件数も、同月23日に1万件を突破しました。

この立体融合画像診断装置はスイス・チューリッヒ大医学部の研究グループ

プが開発した装置で、三次元の立体画像によって全方位から心臓を診ることができ、冠動脈やその分枝ごと

全国初の心臓画像診断1000件突破

冠動脈病変と心筋虚血を融合描出



初めて明らかになった3枝病変の典型的な症例。青、紫色で心筋血流不良の範囲を示していますが、安静時①Aに比した運動負荷時①Bの紫色部分の広がり右冠動脈の狭窄、②Bでの広がりも左冠動脈・回旋枝の狭窄によるものと一目で分かります。

③Bの虚血範囲の広がりは、手術で左冠動脈・前下行枝血管を拡張するために埋め込んでいたステント内の狭窄が原因です。

多枝病変の病変別診断も可能に

の病変の有無や狭窄などの状態と、病変に一致した心筋虚血の広がりや状態との相関関係を正確に確認して診断することが可能です。厚生労働省が2007年6月に使用を許可しましたが、新古賀病院では同月30日から導入し、一診療日当たり平均3件の先進的な臨床診断を行ってきました。心筋血流SPECTで表示される画像データは、各冠動脈領域の血流を相対的に比較したもので、絶対的



立体融合画像診断の新装置

血液量を評価したものではありません。このため、各領域の血流が全身的に低下すると見られる冠動脈の3枝以上の多枝病変では、相対的な血流の差が表れないことから従来の心筋血流SPECTでの虚血診断は困難とされてきました。新古賀病院での臨床研究によって、立体融合画像診断装置と心筋血流SPECTの画像診断を相補的に行えば、冠動脈多枝病変でも病変別の評価が十分可能であることも明らかになり、当院の医療スタッフが学会等に発表し、全国的な注目を集めています。また、この装置で専門医の診断が迅速に的確に行えるようになり、手術までの期間や手術時間が短縮されて患者さんの負担が軽減されるとともに、手術後の効果判定にも大いに貢献しています。さらに、専門的な知識がない一般医や患者さん、そのご家族の方々に対して立体画像で視覚的に分かりやすく、病変とその病状を認識していただくことができ、インフォームド・コンセント（十分な説明と同意）を得るためにも極めて有用性を発揮しています。

新装置診断件数

2007年	6月	1
	7月	42
	8月	23
	9月	27
	10月	36
	11月	36
2008年	12月	38
	1月	30
	2月	44
	3月	50
	4月	39
	5月	27
2009年	6月	40
	7月	49
	8月	32
	9月	28
	10月	45
	11月	44
2010年	12月	29
	1月	31
	2月	35
	3月	41
	4月	36
	5月	28
計	6月	41
	7月	37
	8月	34
	9月	33
10月	30	
計		1,006

医療協力で感謝状 筑後川マラソン



新古賀病院は、2009年10月11日に久留米市の筑後川河川敷で開催された「第6回筑後川マラソン」の救護活動に医療協力し、感謝状をいただきました。昨年の第5回大会は看護師3人の医療協力でしたが、今大会からフルマラソン部門が創設されて、参加者が前回

の2800人から4400人に増えたことから、医師と救急車の派遣要請も受け、川崎友裕・心臓血管センター長（右から二人目）や看護師の古賀千代美さん（左端）、竹川栄子さん（右端）、津留崎孝義さん（中央）、車両管理部の井上政富さん（左から二人目）と救急車が、水天宮と小森野の救護所に待機し、脱水状態でコースに倒れこんだ市民ランナーの救護活動を行いました。当院では今後とも「人々の豊かな生涯を支える医療機関」として市民スポーツ大会などへの医療協力を続けていくことにしています。

がんサロンを開設

新古賀病院は2009年10月8日、当院でがんの治療を受けてらる患者さんやご家族の方々を対象にした「がんサロン」を開設し、毎月一回、医師ら医療関係者も交えた交流学習会を開いています。

この「がんサロン」は、患者さんやご家族の方々が医療関係者らとともに、お菓子を食べながら治療体験やがんとの向き合い

方、生きがいづくりなどを話し合い、相談したりする場です。痛みや癒し、栄養などをテーマにした講演を聴くことによって、療養・介護生活上の様々な不安や悩み事を解消する学習の場でもあります。2005年に島根県・益子赤十字病院のがん患者さんが立ち上げ、全国各地に開設されていますが、福岡県下では初の取り組みです。



これまでの開催と今後の開催予定

■日時	第2木曜日 14:30～16:00
■会場	新古賀クリニック 8階スカイラウンジ
日付	テーマ
'09年10月8日	がんサロンって何？ ～みんなで作ろうがんサロン～
'09年11月12日	栄養について
'10年1月14日	お家で簡単ストレッチ
'10年2月18日	痛みの上手な伝え方
'10年3月16日	自宅でリラクゼーション ～アロマトリートメント～
※3月のみ第3火曜日	
'10年4月8日	ホスピス緩和ケア病棟ってどんなところ？
'10年5月13日	空間と癒しについて
'10年6月10日	心理カウンセラーの先生のお話
'10年7月8日	在宅療養について ～自宅で看取られたご遺族のお話～
'10年8月19日	香道～お香でリラックスタイム～

頼れる民間病院ランキング「全国14位」

新古賀病院

全国発売の「週刊ダイヤモンド」が8月15、22日の合併特大号で掲載した「頼れる病院・消える病院特集」で、新古賀病院が「頼れる民間病院ランキング」II下の表IIで全国14位という評価をいただきました。九州に限定すれば、産業医科大学病院（北九州市）とともにトップの評価でした。



ど10項目の調査指標を設けたアンケートを送り、回答した185病院の指標を1000点満点の配点に従って採点し、得点の高い順に掲載したものです。

全国トップは91得点の順天堂大学順天堂病院（東京都）、東海大学病院（神奈川県）、淀川キリスト病院（大阪府）が並び、86得点の新古賀病院は産業医科大学病院とともに九州ではトップの全国14位でした。

特集記事の中では、「ランキングの上位には、総病床数が500以上のいわゆる大病院が顔を揃えているが、14位の新古賀病院は総病床数が202しかない。だが、肺がんの手術件数では九州がんセンターに次ぐ実績を誇る（08年度は134件）」

この「頼れる民間病院ランキング」は、全国の公的病院を除く総病床数200以上の民間517病院（私立の大学病院と200床以下の社会医療法人を含む）が対象です。「週刊ダイヤモンド」が、一般病床数に占める常勤医師数や専門医数、救急車搬送件数の割合をはじめ、外来患者数に占める初診患者数、看護師の配置基準、患者紹介率、一般病床利用率、平均在院日数な

週刊ダイヤモンド掲載 九州では産業医大病院と並び1位

順位	病院名	所在地	総病床数	得点合計	① 医師数/一般病床数	② 専門医数/一般病床数	③ 看護師の配置基準	④ 保有する施設・設備	⑤ 全身麻酔下での手術件数/一般病床数	⑥ 救急車搬送件数/一般病床数	⑦ 患者紹介率	⑧ 初診患者数/外来患者数	⑨ 一般病床利用率	⑩ 平均在院日数
1	順天堂大学順天堂病院	東京都文京区	1,020	91	15	10	10	5	5	3	8	5	15	15
1	東海大学病院	神奈川県伊勢原市	804	91	15	10	10	5	5	3	8	5	15	15
1	淀川キリスト病院	大阪府大阪市	487	91	12	8	10	5	3	5	10	8	15	15
4	順天堂大学練馬病院	東京都練馬区	400	90	12	8	10	4	5	5	8	8	15	15
5	埼玉医科大学総合医療センター	埼玉県川崎市	913	89	15	8	10	5	5	3	8	8	12	15
6	東京医科大学病院	東京都新宿区	1,015	88	15	10	10	5	5	3	8	5	12	15
6	東京慈恵会医科大学病院	東京都港区	1,075	88	15	10	10	5	5	3	8	5	12	15
6	倉敷中央病院	岡山県倉敷市	1,135	88	12	8	10	5	5	3	10	5	15	15
9	自治医科大学病院	栃木県下野市	1,130	87	15	10	10	5	5	2	8	5	12	15
9	杏林大学病院	東京都三鷹市	1,153	87	15	8	10	5	3	3	8	8	12	15
9	聖路加国際病院	東京都中央区	520	87	15	10	10	5	5	5	8	5	9	15
9	相澤病院	長野県松本市	471	87	9	8	10	4	3	5	8	10	15	15
9	関西医科大学枚方病院	大阪府枚方市	744	87	12	8	10	5	5	2	10	8	12	15
14	刈谷豊田総合病院	愛知県刈谷市	621	86	9	8	10	4	5	5	5	10	15	15
14	兵庫医科大学病院	兵庫県西宮市	1,006	86	15	10	10	5	5	2	10	5	9	15
14	産業医科大学病院	福岡県北九州市	618	86	15	8	10	4	5	2	10	5	15	12
14	新古賀病院	福岡県久留米市	202	86	9	8	10	3	5	5	8	8	15	15
18	昭和大学病院	東京都品川区	853	85	15	10	10	5	5	3	8	5	12	12
18	聖隷浜松病院	静岡県浜松市	744	85	9	8	10	5	5	3	10	5	15	15
20	自治医科大学さいたま医療センター	埼玉県さいたま市	526	84	15	8	10	4	5	3	10	5	9	15
20	大阪医科大学病院	大阪府高槻市	957	84	15	8	10	4	3	2	10	8	12	12
20	明石医療センター	兵庫県明石市	247	84	9	5	10	2	5	3	10	10	15	15
23	獨協医科大学病院	栃木県壬生町	1,167	83	15	8	10	5	3	2	8	5	15	12

「07年に全国で初めて『心臓画像診断装置』を取り入れるなど、最新鋭の医療機器の導入の救急搬送件数は2337件に上る」「地域医療の中核的な存在となっている」などと紹介されました。

にも積極的だ」「救急は絶対に断らない」のがモットーで、総病床数202の病院で年間

「発熱外来」改装オープン



発熱外来 5月に国内初の新型インフルエンザ感染者が確認され、ただちに正面玄関横の地域医療連携室跡に開設していましたが、壁で仕切り、一般患者さんから隔離して診療できる施設（52㎡）に改装しました。



外来待合室 診察室のドアの色を「元気になるビタミンカラー」といわれるアップルグリーンに統一し、診察室の番号を斬新なデザインでドアいっぱいに白字で表示して分かりやすくしました。



問診室 外来待合室との間を全面ガラス張りにしてフロアを明るくするとともに、看護師が患者さんの急変などをすぐに察知できるようにし、問診室はプライバシーを守るため7室を個室化しました。

心疾患リハビリ室は拡充移転



心疾患リハビリ室 これまでの倍近い62㎡の広さに拡充し、室内は心疾患の患者さんが落ち着いた環境でリハビリに取り組めるように焦げ茶色と白に統一しています。イスの色は疲れたり病状が悪くなったりした時、すぐに見つけられるように目立つ赤色にしています。



心臓血管センター

ベージュと白の明るい配色を施したゆったりとした2つの家族待合室を設け、四つの安静室にはリクライニングチェアと家族一人が付き添えるソファを用意し、室内は樹木模様の壁紙で「森林浴の空間」にしました。

問診室・安静室などもリニューアル

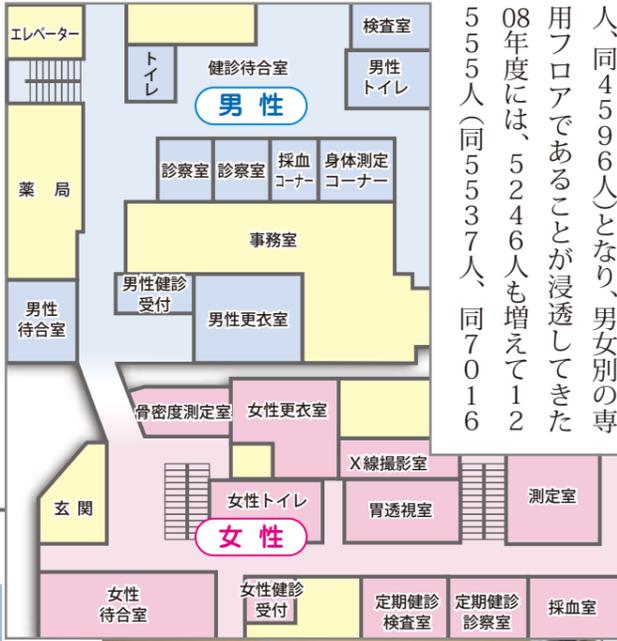
新古賀病院では、新型インフルエンザの流行拡大を受けて2009年9月に「発熱外来」を1階正面玄関横に改装オープンしたのをはじめ、8月には1階の外来待合室や問診室、2階心血管センターの安静室や家族待合室をリニューアルしました。また、10月には心疾患リハビリ室を3階病棟から地下1階に移転し拡充しました。

男女別フロアで受診者倍増

新古賀クリニックの健康管理センターでは、2007年4月から受付や待合室、検査・診察室のすべてが男女別の専用フロアにリニューアルし、下の図のような定期健診と人間ドックを実施していますが、「ゆったりとしたきれいなフロアで、安心して検診できる」と好評で、受診者が男女別フロアの導入前に比べて倍増しています。

「ゆったり」「きれい」「安心」と好評

男女同一フロアだった2006年度の受診者は7309人(男性3648人、女性3661人)でしたが、リニューアルした07年度は1649人増えて8958人(同4362人、同4596人)となり、男女別の専用フロアであることが浸透してきた08年度には、5246人も増えて12555人(同5537人、同7016



男性フロア



女性フロア

男女別フロアで健診

健診の流れ



健康管理センター

0942-353170

男女別フロアで健診

女性が2.3倍、男性は1.7倍

も伸びているのが特徴です。また、男女別二つのフロアの整備によって、より多くの検診が可能になり、09年10月には月間最高の受診者2170人、同年11月21日には一日当たり最高の同200人を記録しました。

当センターは、西鉄久留米駅から歩いて2分の至近距離にあります。健康保険組合連合会の指定施設で、07年の1月には県南地区では初の日本人間ドック学会からの「人間ドック・健診施設機能評価」、4月には政府管掌(現在・全国健康保険協会)健康保険の生活習慣病予防健診施設の認定も受けています。すべての健診結果を画像ファイルリングに入力して瞬時に過去の健診結果と比較できるシステムも導入しており、精密検査等が必要な場合は新古賀病院、古賀病院21とのグループ連携による迅速な対応が可能です。

これらの点やスタッフが「真同が常に心がけている」「真心込めた接遇」も受診者の増加につながっているものと受け止め、さらによりよい健康管理センターを目指して、日々努力していきたくと考えています。

行動規範

- 1 質の高い健康診断を行い、正確かつ迅速な情報を受診者へ提供します。
- 2 心の通った医療サービスを心掛けると共に、利用者の権利を尊重し、個人情報の保護を遵守します。
- 3 医師・保健師・管理栄養士等が連携し、疾病予防と早期発見に努めます。
- 4 地域医療機関との連携を緊密にし、二次精検の強化・疾病の早期発見の支援に努めます。
- 5 私たちは医療人として、より良い健康情報が提供できるように、節度ある態度を持つように自主研鑽に努めます。

人間ドックのご案内

一般ドック

- 全コース共通項目
- 尿検査 ● 尿圧測定 ● 眼底カメラ検査 ● 胸部X線撮影
 - 血液検査 ● 腹部超音波 ● 便潜血検査 ● 心電図検査
- 日帰り(半日) 37,800円**
- 腫瘍マーカー(2項目)
 - 胃透視または胃カメラ検査
- 精密(半日) 63,000円**
- 腫瘍マーカー(6項目)
 - ヘリカルCT検査(肺・脳)
 - 甲状腺エコー検査
 - 肝炎検査(B型・C型)
 - 胃カメラ検査 ● 骨密度測定
 - 心臓ホルモン(BNP)測定
 - A B I (血圧脈波測定)
- 短期入院(1泊2日) 58,800円**
- 腫瘍マーカー(2項目)
 - 呼吸機能検査 ● 糖負荷検査
 - 頸動脈超音波検査
 - A B I (血圧脈波測定)
 - 胃透視または胃カメラ検査

専門ドック

- 脳ドック 28,350円**
- 頭部MRI・MRA検査
 - 頸動脈超音波検査 ● 眼底カメラ検査
 - A B I (血圧脈波測定)
- 肺がんドック 26,250円**
- ヘリカルCT検査
 - 喀痰検査 ● 胸部X線撮影
 - 腫瘍マーカー
- レディースドック 9,450円**
- 骨密度測定 ● 子宮がん検査
 - マンモグラフィ検査
 - 乳腺超音波検査

メディカルアロマセラピーを拡充



新しく整備された個室

植物から香りの成分を抽出した揮発性エッセンスオイルを用いて、専門の看護師が乳がん・子宮がん術後のリンパ浮腫をはじめ、多くの患者さんの症状緩和や癒しのためのアロマ

リートメント(手、足、首・肩・背中)を行なっています。施設をほぼ倍増し、個室3室のほか、広い待合室(乳腺外科と共用)も整備しました。予約制で、木・金曜日ともに午前9時30分〜午後3時30分。予約、お問い合わせは0942-353170まで。

禁煙外来を開設しました

理し、ニコチンパッチや飲み薬によって禁煙できるようにお手伝いします。

新古賀クリニックでは2009年10月から、保険適用で無理なく禁煙をするための診療をする「禁煙外来」を始めました。

禁煙できるようにお手伝いします。予約制で、診療は毎週月曜日・木曜日の午後1時半から。予約や保険適用条件等のお問い合わせは総合案内窓口(0942-353170)まで。なお、「禁煙外来」の開設により、当クリニック敷地内は禁煙となりました。



担当医(宮本祐一院長)があなたのニコチン依存症を診察・管理させていただきます。

新古賀病院3階のメディカルアロマセラピーでは2009年10月から施設を拡充し、これまでの木曜日に加え、金曜日もご利用いただけるようになりました。同施設は、ハーブなどの芳香

医療法人 天神会
新古賀クリニック 健康管理センター

理念

人々の豊かな生涯への予防医療

受診者の権利と責務

- 1 受診者は、平等に健康診断を受ける権利を持ちます。
- 2 受診者は自らの健康情報を提供する責務があります。
- 3 受診者は、健診結果や診療について納得できるまで説明を受け、他の医師の意見を聞く権利があります。
- 4 受診者の個人健康情報は保護されます。

保険適用で負担少なく 重粒子線治療と同等の効果

「がん」を切らずに機能・形態を温存して治す放射線治療の中でも、強度変調放射線治療が注目を集めています。古賀病院21の放射線治療センターが2008年9月に導入したトモセラピーは強度変調放射線治療の専用機で主に前立腺がんの治療を行っています。前立腺がんの根治的な治療法には手術と放射

線治療がありますが、強度変調放射線治療は手術、および放射線治療の中でも最も効果的といわれる重粒子線（炭素イオン線）治療と同等な成績が得られます。重粒子線（炭素イオン線）治療は保険適用外で約300万円の治療費がかかるのに対して、トモセラピーによる治療は保険が適用されるのが特長です。

が強く、がん病巣に集中して治療が可能で、特にエックス線では抵抗性のある骨肉腫や腺がんなどへの治療が期待されています。短期間で治療できることも特長ですが、高額な自己負担が必要で、日本では2施設しかありません。

強度変調放射線治療はエックス線で治療します。トモセラピーは強度変調放射線治療の中でも最も高精度な機器で、51方向から照射しかつ毎回CTで確認するため極めて正確に病巣を照射し、近接する膀胱や直腸などへの照射を極力避けることが可能です。約8週間の治療期間が必要ですが、手術と違い入院の必要はなく、1日15分程度の治療時間で痛みはなく、副作用も軽いため仕事をしながらでも通院治療が可能です。

治療効果は手術や重粒子線治療と同等です。副作用は治療中の頻尿や排便時痛などがありますが、現在まで治療を中断したことは一度もなく、終了後1〜2カ月でほぼ消失しています。治療費は総額約130万円ですが保険が適用され、更に高額医療の払い戻し制度も利用できることから、実質的な自己負担は一般的に3割負担の場合でも月10万円以内です。

トモセラピーのがん治療に注目

	トモセラピー	重粒子線(炭素イオン線)治療機
治療費	約130万円に対し保険適用 高額医療費の払い戻し制度が 利用でき、3割負担の場合でも 自己負担は月10万円以内	保険不適用 自己負担約300万円
治療期間	約8週間(37〜38回照射)	約4週間(20回照射)
特徴	重粒子(炭素イオン)線より弱いエックス線を使用するが、がん病巣の正確な位置を内蔵のCTで確認し、51方向からの強度変調照射装置を回転させることによって、がん病巣の形状に合わせた的確な集中的かつ効率的な線量照射が可能で、がん病巣周辺の正常細胞への副作用が少ない。	重粒子(炭素イオン)線は放射線よりがん細胞破壊力が強く、がん病巣に集中して高い線量を照射する特性(ブラッグピーク)を持つため、がん病巣に至るまでの正常細胞への副作用が少ない。 日本では2施設(千葉・兵庫)しかない。



トモセラピー

前立腺がんは生活習慣の欧米化に伴い今後急速に増加すると予測されています。放射線治療の中で現在最も効果的といわれているのは重粒子線(炭素イオン線)治療です。通常のエックス線よりがん細胞への破壊力

整形外科 機能回復までの一貫医療

古賀病院21の整形外科は院内18診療科の中でも中核となる診療科です。2002年9月の開院当初から整形外科部長を務められ、09年10月に副院長に就任された二之宮謙一先生に当院整形外科の特長や診療方針などについてお聴きしました。



「整形外科は現在、何人の医師で診療されているのでしょうか。」

医師は全員が九州大学医学部・整形外科の医局出身で、私と整形外科部長の合志光平先生、同医局からの山本俊策先生の常勤3人に、同医局からの非常勤医師2人を加えた計5人で診療に当たっています。

「年間、何人の患者さんを診療し、どのくらいの手術をされているのでしょうか。」

2008年度の整形外科の外來延べ患者数は10277人、入院延べ患者数は20704人でした。骨折関連や脊椎、人工関節など計352例の手術を行いました。特に脊椎手術は、術中に患者さんの感覚神経や運動神経が損傷していないかを確認できる「術中脊髄機能モニタリング装置」を08年度から導入したことによって、より安全な手術が可能になり、症例数は順調に伸びています。この装置は筑後地区では久留米大学病院に続いて2番目の導入です。

「整形外科として他の病院にない特長は何でしょうか。」
当院は急性期病院でありながら回復期リハビリ病棟(40床)も備えています。整形外科の手術を受けた患者さんは、術

後も入院して機能回復訓練を受け、よくなった状態で退院することができるのが、他の急性期病院にはない最大の特長です。

「どのような診療方針を心がけておられるのでしょうか。」

先入観を持たず、患者さんの訴える症状に耳を傾けた的確な診断と、安全な手術、そして、手術した患者さんが機能を回復して社会復帰できるところまでを一貫して見届ける「患者さんの満足が医師の満足でもある医療」を心がけています。



駅の上り線ホーム沿いに新しい18診療科名や病院の特徴、無料シャトルバスの運行などを案内する看板「写真」を新設しました。

古賀病院21では2009年8月、医療法施行令と同法規則の一部改正に基づき、標榜診療科をこれまでの11診療科から18診療科に変更し、院内の掲示看板を新装するとともに、西鉄宮の陣

標榜科目を18診療科に 古賀病院21

標榜診療科

- 内科
- 呼吸器内科
- 腎臓内科(人工透析)
- 消化器内科
- 循環器内科
- 放射線診断科
- 血液内科
- 糖尿病・内分泌内科
- 神経内科
- 外科
- 整形外科
- 消化器外科
- 肛門外科
- 呼吸器外科
- 救急
- 放射線治療科
- リハビリテーション科
- 麻酔科

田中久重の幻の人形公開

久留米からくり振興会

NPO法人「久留米からくり振興会」(古賀伸彦理事長)主催の「からくり実演会」が2009年11月28、29の両日、久留米市宮ノ陣の久留米ビジネスプラザで



市民1000人 精巧な技術に歓声

開かれ、久留米が生んだ幕末・明治初期の天才発明家・田中久重の幻のからくり人形「甲冑(かつちゅう)弓射(ゆみい)り人形」写真Ⅱが、初めて約1000人の市民に公開されました。「久留米からくり振興会」は、日本の近代科学技術の発展に貢献し、「からくり儀右衛門」「東洋のエジソン」とも呼ばれた田中久重の偉業を顕彰し継承するため、07年9月に医療法人「天神会」の古賀伸彦理事長をはじめ、久留米市内の政財界有志によって設立された特定非営利活動法

人です。同年11月に開催した「夢の三大からくり展」では久重の三大名作「茶酌娘」「文字書き人形」「弓曳き童子」が一堂に展示され、08年11月には久重の創造力や向上心を子供たちに引き継いでもらうための「こども工作展」も開かれましたが、今回は「からくり実演会」と「こども工作展」のほか、「ロボット製作講座」も開催されました。

公開された「甲冑弓射り人形」は、厚生労働省の「現代の名工」にも選ばれた日本からくり研究会の東野進理事長(大阪府)が、古文書の記述を基に復元したものです。ぜんまい仕掛けの武者人形(高さ52cm)が、足元に立てた4本の矢を



甲冑弓射り人形を説明する東野さん

次々に弓につがえ、約5m先に置かれた直径約8センチの的を見事に射抜くたびに、詰め掛けた市民らの歓声が上がっていました。人形が4本目の矢をつがえる時には背後の垂れ幕が開いたり、的を射抜いた時にはそばに腰掛けた武将人形が「お見事」とばかりに扇でひざを打ったりする

仕掛けも施されており、市民らは幕末・明治初期のものとは思えない久重の精巧な技術に驚きながら、東野理事長の説明に聞き入っていました。「こども工作展」には久留米市内の幼稚園児や小学生70人が作った「ゴムの力で動く車」や「きょうりゅうロボット」などが展示され、「ロボット製作講座」では親子60組が藤井修・久留米工業大学講師の指導でロボット作りに挑戦しました。

…… からだ言葉のカルテ④ ……

宇野信夫氏の新作歌舞伎「おちくぼ物語」には、落窪姫に結婚を迫る典業助が「酒を食べていた」という台詞が出てきます。「酒は飲むものでは？」と奇異に感じるかも知れませんが、日本人は江戸時代末まで、酒を単なる飲み物ではなく飲食の一種とみなして「酒を食べる」とも言っていました。ただ、「食べる」という動詞が使われたのは江戸時代からです。それまでは「食ぶる」でした。「食ぶる」は、平安時代から使われ始めた「いただく」という意味の謙譲語「食ぶ」が語源で、現代語の「食べる」に相当する当時の通常語は、漢文系では「食らう」、和文系では「食う」でした。「おちくぼ物語」の原作「落窪物語」が書かれた頃の男性の台詞としては、「酒を食らっていた」の方が的確です。「くう」は平安時代以前ではまだ、口にくわえるという意味の動詞で、奈良時代は万葉集の山上憶良の長歌や柿本人麻呂の妻の反歌にも詠み込まれた「はむ」や「たぐ」が通常語でした。「はむ」の「は」は「歯」、「たぐ」の「た」は「手」が語源で、「たぐ」は手づかみの食事から生まれた日本語で最も古い「食べる」という意味の動詞だったのではないのでしょうか。(水)



県内初の創傷治療センター

足の病気には、足の切断を余儀なくされる糖尿病性の壊疽(えそ)や静脈性皮膚潰瘍をはじめ、自分の足に合わない靴を履き続けることなどによって健康者も発症する胼胝(たこ)や鶏眼(魚の目)、巻き爪、外反母趾など、様々な病変があります。創傷治療センターは、こうしたすべての足病変を総合的に診療するために、医療法人「天神会」が2006年7月に福岡県内では初めて開設した足病変専



新古賀クリニック 創傷治療センター 管理看護師 石橋理津子

壊疽から魚の目まで足病変治療 門外来です。「歩くための足を守り、足から全身を診ること」をモットーに、毎週水曜日午前9時から午後5時まで新古賀クリニックの3階で診療しています。糖尿病の患者数は平成19年度報告で約890万人といわれています。糖尿病を発症すると、末梢神経障害や運動障害、自律神経障害などの症状が出て、足に傷をつくるリスクが非常に高くなるうえ、動脈硬化もきたすため、足の血流が乏しくなって傷が治り

にくくなります。糖尿病患者さんの15%が足に傷を負った経験があります。しかも、切断後の生命予後は非常に悪く2年以内で40%、4年以内で65%の方々が亡くなっています。今までの足病変は傷があれば膝下から、または大腿部から切断を余儀なくされていましたが、私たちはこの切断部位を少しでも低い位置で、可能な限りかかとを残し切断後も自分の足で歩行が出来ることを目標に、循環器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、形成外科などの医師、看護師でチームを結成し治療にあたっています。また、日本は「靴」に対する文化が諸外国に比べて遅れており、靴が合わないことによって胼胝や鶏眼、巻き爪、外反母趾などの病変に悩む人が多いのも特徴です。私たちの創傷治療センターには、「足がずっと痛かったが、どこで治療を受ければいいのか分かりませんでした」とおっしゃられて受診する患者さんも多く、痛みが緩和されて「病院で治療ができると思いませんでした」という喜びの声も多く聞かれます。創傷治療センターは月1回京都から足専門の義肢装具士を招き、自分の足に合ったフットウエア(靴)の紹介もしています。義肢装具士が足の型をとり、2〜6週間後には専用のフットウエアが完成します。軽い胼胝であればこのフットウエアを毎日履くだけで胼胝が出来にくくなります。治療のご予約やお問い合わせは新古賀クリニック(0942・35・2485)まで。



看護師100人が防犯講習

医療法人「天神会」では2009年7月24日、久留米署生活安全課にお願いして看護師の防犯講習会を新古賀病院5階の記念講堂で開き、約100人が犯罪への対抗策を学びました。新古賀病院近くでもひったくり事件が起きたことから、夜間に帰宅することが多い看護師を対象に開いたもので、同居生活安全課の防犯係長から「バッグはたすき掛けで持つ」「自転車のかごに入れたバッグはネットや雑誌で覆う」などのアドバイスを受けたあと、痴漢を撃退する護身術の実演もしていただき、講習会の模様は新聞やテレビでも紹介していただきました。

医療・介護Q&A

「予後とは？」

今後の病状の医学的な見通しのことです。病気の進行具合、治療の効果、生存できる確率など、すべてを含めた見通しです。これから病気が良くなる可能性が高いか、悪くなる可能性が高いか、見通しを指す場合もあり、「予後が良い」とは「これから病気が良くなる可能性が高い」、「予後が悪い」とは「これから病気が悪くなる可能性が高い」という意味です。国立国語研究所の「病院の言葉」委員会では、「予後」という言葉は一般にはあまり知



「エビデンスとは？」

この「エビデンス」も、国立国語研究所の「病院の言葉」委員会が患者さんに別の言葉で説明してほしいと提言している言葉で、「治療法が良い」と言える証拠という意味です。医療の分野では、多くの患者さんに実際に使って試す調査研究をして、薬や治療方法がどれくらい効き目があるかを確かめています。その調査研究によって、薬や治療方法、検査方法などがよいと判断できる証拠のことです。「エビデンスに基づく治療」とは「研

編集後記

ようやく第4号が出来上がりました。この広報誌は取材からレイアウトに至るまでの全てが手作りですが、今回は特に3、4面と7、8面の見開き面のレイアウトに苦労しました。出来る限り読みやすく、かつ情報を満載して作成したつもりですが、お問い合わせや指摘、ご要望などがございましたら広報部(0942・35・2843)まで、ご連絡下さい。